

2025年5月3日
株式会社 GT アソシエーション
FIA-F4 事務局

FIA-F4 選手権 第1戦 決勝上位コメント

■ 第1戦 チャンピオンクラス優勝 鈴木 斗輝哉【#29 TGR-DC RS F4】



「去年からは考えられない結果です。速くなるためにシーズンオフの間にいろいろと努力してきたことが実って、本当に良かったと思います。前の2台がストール気味で出遅れたことで、スタートでトップに上がったことが、まずはキーポイント。スタートで以外では、ジャンプアップはなかなかできないので。その後、4周目あたりからタイヤがきつくなって、あせりから一度トップを譲ることになりましたが、SC（セーフティカー）リスタートでうまく再逆転に成功した後は、梅垣選手を徐々に離すことができました。もっと中盤のペースが上げられるよう、改善していきたいです。富士はホームコースで走りこんでいるので、ここでの5戦は全部勝てるよう頑張ります」

■ 第1戦 チャンピオンクラス2位 梅垣 清【#28 TGR-DC RS F4】



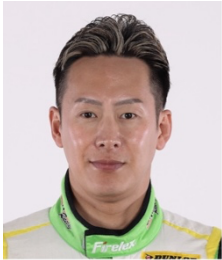
「スタートは悪くなく2位に上がることができて、6周目にはトップに立つことができたものの、その瞬間から若干ペースがきつくなり、後半はさらにきつくなりました。バトルの面でもチームメイトと何度か競り合った中で、若干負けていました。そんな課題の残るレースでしたが、練習から着実に前進できている感じはあって、そこは良かったです。明日（第2戦と第3戦）はまたコンディションも変わると思うので、クルマもドライビングもしっかりアジャストさせて、絶対優勝したいです」

■ 第1戦 チャンピオンクラス3位 森山 冬星【#43 JMS RACING with B-MAX】



「スタートは全然良くなくて1台にオーバーテイクを許すことになりましたが、その後すぐに抜き返すことができたのは良かったです。その後も冷静にレースができていたと思います。去年チャンピオンになったB-MAXで戦う以上、自分も今年はチャンピオンを獲るしかないという気持ちでいます。今後のレースも、しっかりと戦っていきたいです」

■ 第1戦 インディペンデントクラス優勝 KENTARO 【#55 baum beauty clinic】



「去年初めて優勝したのも富士で、今年も初戦で優勝することができてすごく嬉しいです。スタートは良かったという感触があって、気づいたら2番手までに浮上していました。でもその後に今田さんに抜かれて、やっぱり今田さんは速いなと思いました。その今田さんに再び最終コーナーで近づいて、スリップに入って抜き返すことができたのは良かったです。(予選)4位スタートから優勝まで漕ぎつけられたのは、今後に向けての自信に繋がります。明日の2戦もなんとか優勝できるよう頑張ります」

■ 第1戦 インディペンデントクラス2位 今田 信宏 【#44 JMS RACING with B-MAX】



「シーズンオフに股関節の手術をした影響で今年はとにかく走りにキレがなくて、予選も一生懸命走ったのに7位留まり。ただレースに関しては経験でカバーできる部分もあると思っていたところ、スタートでジャンプアップすることができて、その後 KENTARO 選手との数度にわたるバトルを経て、どうにかこうにか2位で終わったという感じです。今後も経験を活かして頑張りつつ、後半戦に向けて身体のキレを戻していきたいです」

■ 第1戦 インディペンデントクラス3位 中島 功 【#10 Rn.SHINSEI.MCS4】



「ポールポジションからスタートすることになり緊張も多少ありましたが、慎重に行き過ぎたことで少し失敗しました。たぶん、6番手くらいまで後退したと思います。でもその後、なんとか混乱をすり抜けながら徐々に順位を取り戻し、なんとか3位でゴールすることができました。スタートから順位を落とすことになりましたが、今回の目標はポイントを獲得することだったので、3位は良い結果。明日(第2戦と第3戦)も引き続き、表彰台を目標に頑張ります」